

【日本経済調査資料シリーズ 8】

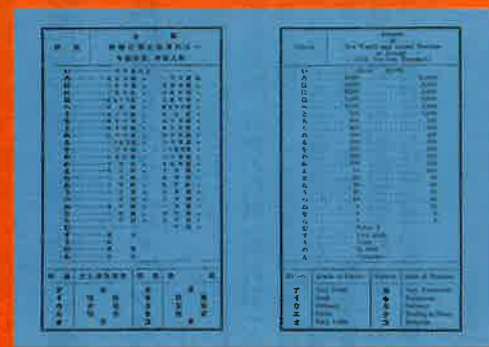
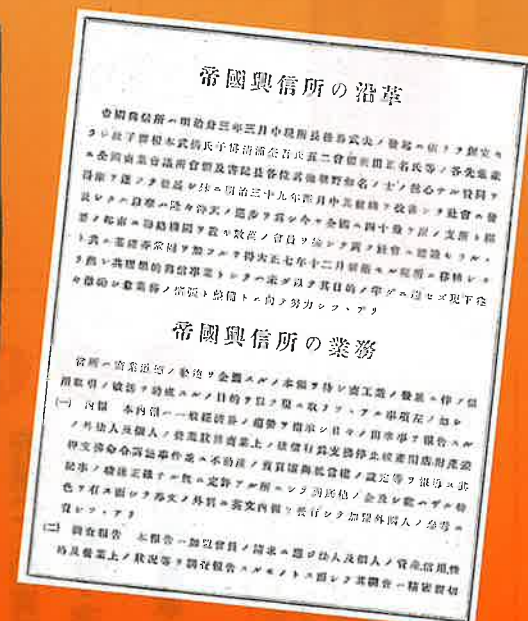
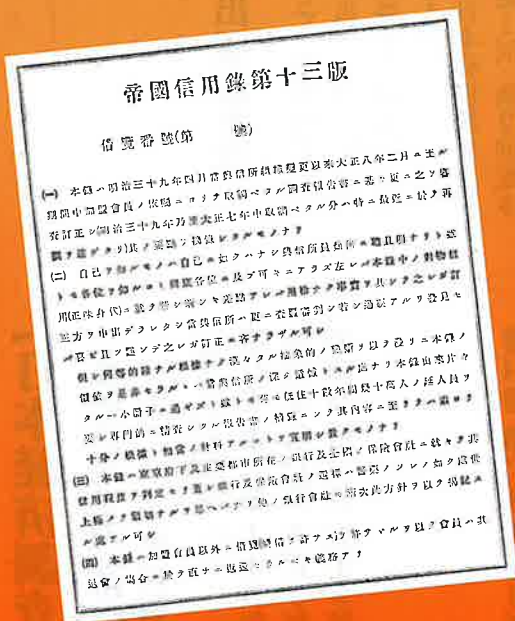
明治大正期 帝国信用録

THE BUSINESS-MEN'S CREDIT RECORD

第Ⅲ期 第3回配本 大正9年 全4巻

●体裁：B5判・上製 約2,200頁 ISBN978-4-910672-67-0 C3333

●定価：本体120,000円＋税



大正中期の東京府・神奈川・大阪・兵庫をはじめ、各府県、旧植民地の商工業者の人名録。

クロスカルチャー出版



日本経済調査資料シリーズ



【日本経済調査資料シリーズ 1】世界遺産「富岡製糸場」はじめ各工場・鉱山の変遷を明らかにする基本データ集。

全国工場鉱山名簿 全3巻 **在庫僅少**

解説：阿部武司（大阪大学名誉教授）

●定価（84,000 円＋税） ●B5 判・総約 1800 頁 底本：『全国主要工場鉱山名簿』ほか。 ISBN978-4-9905091-0-1 C3333

【日本経済調査資料シリーズ 2】米国司法省戦時経済局が押収した米日本商社資料を集めた貴重な資料。

米国司法省戦時経済局対日調査資料集 全5巻 **在庫僅少**

編集・解説：三輪宗弘（九州大学教授）

●定価（160,000 円＋税） ●B5 判・総約 2,500 頁（改訂版） ISBN978-4-908823-17-6

【日本経済調査資料シリーズ 3】明治・大正期の西日本を中心とした企業信用情報がわかるソース・ブック。

明治大正期 商工資産信用録 第Ⅰ期 第1回配本 全6巻

ISBN978-4-905388-12-8 C3333

●定価（130,000 円＋税） ●B5 判・総約 3,800 頁 底本：『商工資産信用録』（商業興信所刊 明治42年～大正元年）

明治大正期 商工資産信用録 第Ⅰ期 第2回配本 全9巻

ISBN978-4-905388-19-7 C3333

●定価（195,000 円＋税） ●B5 判・総約 5,700 頁 底本：『商工資産信用録』（商業興信所刊 大正4年～大正14年）

【日本経済調査資料シリーズ 4】明治・大正期の東日本を中心とした企業信用情報がわかるソース・ブック。

明治大正期 商工信用録 第Ⅰ期 B5判上製 底本：『商工信用録』（東京興信所刊 明治32年～大正14年）

●第1回配本（全4巻）明治32～44年 定価（100,000 円＋税） 総約 2,600 頁 ISBN978-4-905388-29-6 C3333

●第2回配本（全4巻）大正4年 定価（120,000 円＋税） 総約 2,100 頁 ISBN978-4-905388-75-3 C3333

●第3回配本（全4巻）大正7年 定価（120,000 円＋税） 総約 2,200 頁 ISBN978-4-905388-89-0 C3333

●第4回配本（全4巻）大正9年 定価（120,000 円＋税） 総約 2,100 頁 ISBN978-4-908823-00-8 C3333

●第5回配本（全4巻）大正14年 定価（120,000 円＋税） 総約 2,000 頁 ISBN978-4-908823-10-7 C3333

明治大正期の各府県商工業者の営業状態や資産信用情報が詳細にわかる。中小商工者レベルまで網羅。外国人も収録。

【日本経済調査資料シリーズ 5】「長尾文庫」からの企業資料セレクション。

明解企業史研究資料集 第1回配本 一旧外地企業編 全4巻

編集・解説：佐々木 淳（龍谷大学教授） ●定価（150,000 円＋税） ●B5 判・総約 3,500 頁 ISBN978-4-905388-48-7 C3333

旧外地の台湾、朝鮮、満洲国、中国関内、南洋諸島の12社をセレクション。社史、事業概要・企業活動などを収めた初の資料集。

明解企業史研究資料集 第2回配本 総合商社鈴木商店関係会社編 全3巻

編集・解説：佐々木 淳（龍谷大学教授） ●定価（130,000 円＋税） ●B5 判・総約 2,700 頁 ISBN978-4-905388-94-4 C3333

鈴木商店関連資料のほか、関係会社から稀少な社史（豊年製油、天満織物）、樟脳事業関連資料などを復刻。商社史だけではなく産業史・地域史研究にも役立つ資料。

明解企業史研究資料集 第3回配本 繊維産業編 全3巻

編集・解説：佐々木 淳（龍谷大学教授） ●定価（130,000 円＋税） ●B5 判・総約 2,500 頁 ISBN978-4-908823-23-7 C3333

戦前期在来産業の代表・繊維業の地域別製造業者・問屋などを網羅する稀少資料を復刻。繊維産業史研究の第一級資料！！

【日本経済調査資料シリーズ 6】昭和前期の西日本を中心とした企業信用情報がわかるソース・ブック。

昭和前期 商工資産信用録 第Ⅱ期 B5判上製 底本：『商工資産信用録』（商業興信所 昭和6年～昭和16年）

●第1回配本（全4巻）昭和6年 定価（120,000 円＋税） 総約 1,700 頁 ISBN978-4-908823-33-6 C3333

●第2回配本（全4巻）昭和11年 定価（120,000 円＋税） 総約 1,700 頁 ISBN978-4-908823-46-6 C3333

●第3回配本（全4巻）昭和16年 定価（120,000 円＋税） 総約 1,750 頁 ISBN978-4-908823-53-4 C3333

昭和前期の各府県商工業者の営業状態や資産信用情報が詳細にわかる。中小商工者レベルまで網羅。旧植民地や外国人の情報も収録。

【日本経済調査資料シリーズ 7】昭和前期の東日本を中心とした企業信用情報がわかるソース・ブック。

昭和前期 商工信用録 第Ⅱ期 B5判上製 底本：『商工信用録』（東京興信所 昭和5年～昭和15年）

●第1回配本（全4巻）昭和5年 定価（120,000 円＋税） 総約 2,000 頁 ISBN978-4-908823-80-0 C3333

●第2回配本（全4巻）昭和10年 定価（120,000 円＋税） 総約 1,800 頁 ISBN978-4-908823-66-4 C3333

●第3回配本（全4巻）昭和15年 定価（120,000 円＋税） 総約 1,800 頁 ISBN978-4-910672-01-4 C3333

昭和前期の各府県商工業者の営業状態や資産信用情報が詳細にわかる。中小レベルまで網羅。

【日本経済調査資料シリーズ 8】民間会社が調査・収集した商工業者の信用調査情報。銀行や保険会社も掲載。

明治大正期 帝国信用録 第Ⅲ期 B5判上製 底本：『帝国信用録』（帝国興信所 明治42年～明治45年）

●第1回配本（全5巻）明治42年 / 明治45年 定価（160,000 円＋税） 総約 3,200 頁 ISBN978-4-910672-19-9 C3333

●第2回配本（全5巻）明治41年 / 大正4年 定価（165,000 円＋税） 総約 3,300 頁 ISBN978-4-910672-45-8 C3333

各種の信用録を簡潔に解説し、符号表の読み取り方を指南した画期的な一冊。

『戦前期商工信用録解説—詳細とその活用法—』

ISBN978-4-910672-25-0 C3033

阿部武司（大阪大学名誉教授）著 定価（1500 円＋税）

クロスカルチャー出版

学術出版

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2-7-6

TEL：03-5577-6707 FAX：03-5577-6708

e-mail：crocul99@sound.ocn.ne.jp

取扱書店

推薦します

『帝国信用録』の掲載項目は、地理情報としても有益

九州大学 大学院経済学研究院 准教授 鷲崎俊太郎

キャッシュレス化の進捗する現代日本で、信用取引は必要不可欠な存在だといえます。翻って商人間の信用取引の起源を考えてみるに、手形は近世の大坂や絹織物産地の桐生・足利で使用・流通していましたが、前者は小切手に近く、後者は地域内での流通に限定されました（寺西重郎 [2011]『戦前期日本の金融システム』岩波書店、206-208頁）。1893年に旧商法が施行されましたが、当時の銀行営業でも抵当貸が大半を占め、信用貸はわずかでした。

日本で信用調査機関が誕生したのは、ちょうどその頃です。1892年に大阪で商業興信所が、1896年に東京で東京興信所が、さらに1900年に帝国興信社（のち帝国興信所）が設立されました。3社とも会員制度を採用し、現場に赴いた担当者による報告書をもとに、個人の資産・信用を調査した「信用録」や、企業情報を収録した「会社録」を出版しました。

とくに「信用録」は、その信用情報を厳重に守るべく、正味の身代や信用の程度などを表す評価項目を符号で記載したため、会員は別紙の「符号手引」にある符号と照合しながら、その大小やランクを把握しました。また「信用録」は、会員の求めに応じて貸与され、脱会時には原則的に返却されました。それだけに、「信用録」は後世に残りがたい資料でした。

帝国興信所の信用録である『帝国信用録』は、全国の商工業者まで対象とするのみならず、調査対象の「盛衰」まで評価できている点に特徴を有します。その存在はこれまで、第2版（1909年）までしか溯及できませんでしたが、今回の第1版（1908年）とその「符号手引」の発見は、日露戦後期の信用情報を1年でも早く知るうえで、喜ばしく感じられます。

これまで「信用録」を用いた研究の舞台は、近代日本の経営史にありましたが、この機会を利用して、隣接の他分野にもその利用を推奨できれば幸いです。たとえば、歴史地理学では、商店街の空間変遷を時系列的に分析する動向が見られます。ここにおいて『帝国信用録』の掲載項目は、地理情報としても有益な一次情報をもたらします。帝国興信所の詳細な調査情報を、100年後の我々は「会員」にならずとも、利用できる機会を与えられているのです。



Crossculture
Publishing
Company Ltd.

●大正9年(1920)。第一次世界大戦の

【第13巻】【神奈川】

【第13巻】【京都】

【第12巻】【大阪】

●人物から会社・産業がわかる、

●日立製作所、日本曹達、片倉紘

【第14巻】【北海道】

【第14巻】【福岡】

【第14巻】【岡山】